



(1) 社会教育の推進 <施策 22>

主な取組 ・事業 実施状況	○県立社会教育総合センター等での学習情報の提供及び学習相談の充実 ・「ふくおか社会教育ネットワーク」を活用し、先進的な取組事例等の情報提供やメールの配信等を実施 ○県立社会教育施設の機能充実・利用促進 ・各施設において、事業内容の充実を図るため、県民の多様な学習ニーズに対応した学習プログラムや児童生徒の現代的課題に対応する体験プログラムの開発、家庭教育支援のための各施設の特徴を活かした講座等を実施 ・県立図書館の所蔵資料を自宅等のインターネットや電話で予約し、最寄りの市町村立図書館（室）で受取・返却できるサービスを実施（サービスを利用できる市町村数 53 市町村） ○社会教育関係職員の資質向上 ・市町村新任社会教育関係職員研修等を実施（参加者数：47 名） ・九州ブロック社会教育研究大会福岡大会を実施（福岡県参加者数：351 名） ○ふくおか社会教育応援隊事業の実施<重点事業 18> ・地域の社会教育活動の推進を図るため、市町村や学校等の要望に応じ、社会教育主事を派遣する「ふくおか社会教育応援隊事業」の実施（派遣回数：1,113 回） ○社会教育関係団体等に対する育成支援・補助 ・社会教育関係団体が実施する研修会等における講義や指導助言などの活動支援及び団体助成金の交付（11 団体） ○ＮＰＯやボランティア団体との連携・協力の推進 ・「みんなで育もう！ふくおかの子ども育成支援フォーラム」の開催（参加者数 73 人）
成果	○県立社会教育施設、及び各教育事務所が実施する「ふくおか社会教育応援隊事業」において、広報の在り方を見直したり、ニーズに応じた内容を充実させたりすることで派遣回数が増え、地域の社会教育活動の推進を図ることができました。 ○県立図書館においては、外壁工事の影響等により来館者数が減少したことや、電子書籍の利用が減少したことから、年間貸出冊数が減少したものの、Web 利用登録の活用により指定館受取・返却サービスの利用が増加しました。
今後の課題 ・対応	●社会教育施設の利用促進とサービスの向上 ・各施設の特色を生かした体験プログラムの開発と事業の充実を行います。 ●ふくおか社会教育応援隊の派遣推進 ・地域の社会教育活動をより一層推進するため、市町村や学校等の多様なニーズに応じた支援を行います。 ●県立図書館の利用者数の増加 ・市町村立図書館等との連携強化や Web 利用登録の周知を一層図るとともに、読書バリアフリーのさらなる推進、電子書籍の充実など、利用者サービスを向上させます。

指標	現状値（R7 年度）	目標値	達成状況
【県立社会教育施設の利用】 県立社会教育施設の利用団体数（社会教育総合センター、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」）	2,410 団体	1,900 団体 (R8 年度)	◎
【県立図書館の利用】 県立図書館の年間貸出冊数（電子書籍を含む。）	449,385 冊	460,000 冊 (R8 年度)	○
【ふくおか社会教育応援隊事業の実施】 ふくおか社会教育応援隊事業における社会教育主事等の派遣回数	1,113 回	1,200 回 (R8 年度)	○